



にじのはし幼稚園 園だより

平成29年3月号
港区立にじのはし幼稚園
園長 酒井 正美

さくらのつぼみがふくらんで みんなのこころもふくらんで
ふわっとさくのがたのしみで みんながたのしいようちえん

3月になりますと、本格的な春を感じるようになります。梅や河津桜が春の訪れを感じさせてくれた後、沈丁花、レンギョウ、雪柳、そしてソメイヨシノ桜と、次々と律儀に順序良く咲いていく様からは、自然の不思議さを感じるとともに、季節の移り変わりの楽しさを十分に味わわせてもらえます。

さて先日、春一番が吹いた数日後、大変に風の強い日がありました。午後から急に風が強まり、降園時刻の園庭は海からの風が園舎の横を吹き抜けて、砂嵐のような状況となりました。とても通常のように園庭から降園することは難しく、急遽普段とは違う降園の仕方としました。年齢が低いほど、いつもと違う動きや流れに戸惑うものです。しかし、年長5歳児をはじめ年中4歳児、年少3歳児の子供たちは、教師の話を受け止め、しっかりと行動することができました。いつもと違う靴の扱い、保護者が来た順での降園にも落ち着いて対応し、安全に降園することができました。年度当初では、こうはいきません。毎月の避難訓練は重要ですが、それだけでこのような姿に育つ訳ではありません。遊びや生活の中で学ぶのが幼児期の特性です。相手の言っていることを聞こうとする、受け止める、理解したことを行動に移す、機敏に動く、等の力を日々の遊びや生活の中で育てる必要があります。これらの力がしっかりと育っていることを実感する出来事でした。

今年度は、開園20周年という大きな節目がありました。地域の皆様に愛され、支えられているからこそその幼稚園の教育活動であることを改めて実感する1年でもありました。子供たちにとっても、たくさんの方々にお世話になっていることを感じ、大好きな幼稚園に「20歳おめでとう」の思いをもつ機会となりました。

子供たちの育ちをしっかりと保障することを基本に、「子供も、保護者も、職員も笑顔あふれる幼稚園」を目指して取り組んでまいりました。今年度のにじのはし幼稚園の教育に、保護者の皆様、地域の皆様、関係の皆様のご理解、ご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。

進級、進学への期待を膨らませている子供たちの思いを大切に、自信をもって次へと進めるよう、締めくくりの3月を過ごしてまいりたいと思います。

全学年で第三台場にお別れ遠足



台場高齢者在宅
サービスセンター訪問

保育園の友達と一緒に
プレスクール（学校体験）

